北十間川水辺活用まちづくりニュース vol.1
発行：平成 28 年 10 月　墨田区都市整備課

北十間川の水辺活用に向けた勉強会※（第２回）を実施しました

※北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、賑わいの波及による周辺一帯の回遊性向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

○平成 28 年 7 月 3 日(日)に町会・商店会、事業関係者など 28 名によりまち歩きを行い、北十間川周辺の気になるスポットを探ってみました。

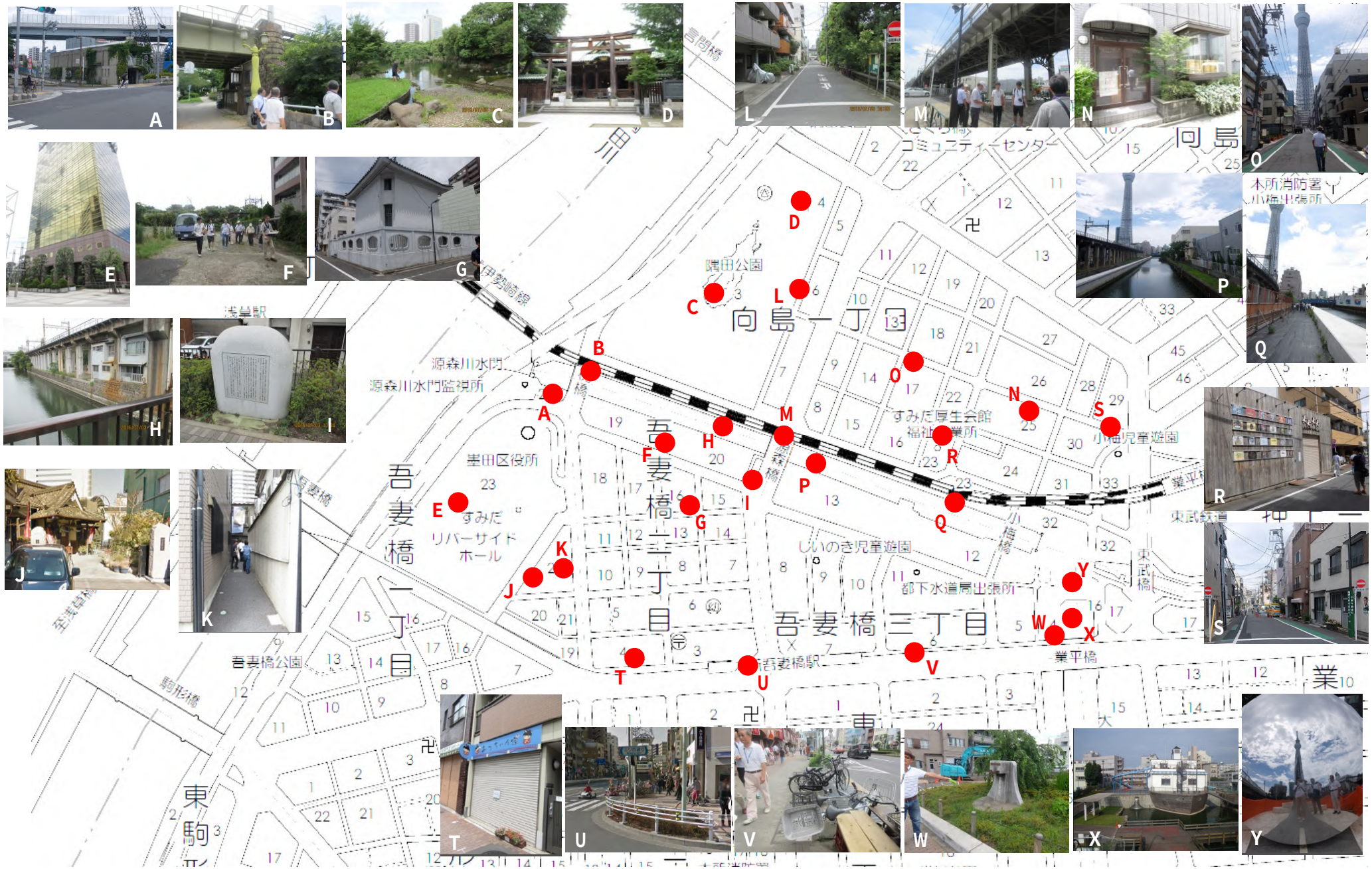
■参加いただいた町会・商店会など（順不同）：吾妻橋一丁目町会、二丁目町会、三丁目町会、向島一丁目町会、本所吾妻橋商店会、芝浦工業大学建築学科（志村教授・研究生）

■事業関係者：東武鉄道㈱、東京都、（事務局：墨田区都市整備課、㈱アルメックＶＰＩ）

今回のテーマ

3 つのグループに分かれて北十間川周辺のまち歩きを行った後、気になるスポットをまとめて発表しました。
まち歩きコース：　源森橋～小梅橋の北側護岸、隅田公園、浅草通り、言問通り、小梅牛島通りなど

☆　まち歩きでみつけた　気になるスポット　☆



みなさんも、今一度自分たちのまちの魅力を探ってみてはいかがでしょうか！

北十間川の水辺活用に向けた勉強会※（第３回）を実施しました

北十間川水辺活用まちづくりニュース　vol.2
発行：平成 28 年 10 月　墨田区都市整備課

※北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、波及による周辺一帯の回遊性向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

○平成 28 年 9 月 30 日(金)に墨田区役所会議室において町会・商店会、事業関係者など総勢 40 名により北十間川の水辺活用に向けた勉強会(第 3 回)を開催しました。

■参加していただいた町会・商店会など（順不同）

吾妻橋一丁目町会、吾妻橋二丁目町会、向島一丁目町会、小梅一丁目町会、本所吾妻橋商店会、吾妻橋パトリア会、リバーピア吾妻橋飲食店会

(一社)墨田区観光協会、芝浦工業大学建築学科（志村教授・研究生一同）

■事業関係者

東武鉄道(株)、東京都、墨田区（観光課、産業経済課、都市整備課）　　**（事務局：墨田区都市整備課、(株)アルメック VPI、(株)モデュール）**

今回の勉強会のテーマは２つ

①隅田公園の整備について

・今年度基本設計を実施している隅田公園の再整備について、「隅田公園の良いところ・悪いところ」及び「こんな使い方をしたい」といった議題で参加者の皆さんに３つのグループに分かれていただき議論しました。

・参加者の皆さんからいただいたご意見は、今後の参考とさせて頂きます。

■「公園の良いところ・悪いところ」に関する主なご意見（○良い・×悪い）

○：かつての面影が日本庭園に残っている、広場はレクリエーションやイベントの活用場所になる、牛嶋神社の例大祭が良い、外国人にも人気が高い、桜の名所…等々

×：樹木が多すぎて見通しが悪い、夜間は暗く怖い、入口が狭い、池が汚く活かしきれていない、遊具が無く子供が遊べない、維持管理がしっかりされていない…等々

■「公園でこんな使い方をしたい」に関する主なご意見

・大きな芝生広場（避難場所としても利用できる）、佇める空間がほしい。

・家族連れや小さな子供を安心して遊ばせたい

・北十間川と公園が一体となった空間にしたい

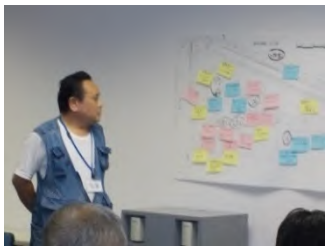
・牛嶋神社を意識した公園としたい　…等々

■３グループが提案する「こんな公園にしたい」公園像

○防災・防犯に配慮した子供も安心して遊べる公園

○子供が集まり昔のような利用ができる公園

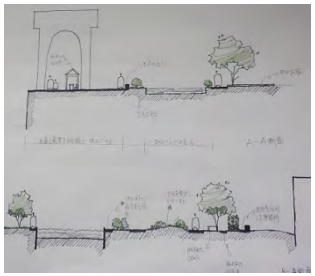
○明るく安全で子供が過ごせる公園



※裏面に続く⇒

・芝浦工業大工建築学科の学生さんも参加して頂き、学生が考える公園整備のイメージ（案）を発表してもらい、提案内容について参加者と意見交換を行いました。

＜学生の提案＞
・池を回る形で回遊性のある散歩道を整備
・広場に面する池は子供が入れるジャブジャブ池とする
・公園の入口を入りやすくする空間づくり
・区道からの見通しを確保するための樹木の適宜削減
・牛嶋神社へ通じる参道的な園路の整備
・高低差をゆるやかにして全体の見通しを確保



②試験的イベントについて

・試験的イベントとは、北十間川水辺活用の推進に向けて以下に示す目的のために実施するものです。
・この目的を踏まえて、今年度に初回の試験的イベントを実施するにあたり、どのような内容のイベントが相応しいか、また具体化する際の実施体制をどうするかなどについて参加者の皆さんに話し合っていただきました。
・参加者のご意見を踏まえて、各町会や商店会の皆さんと共にイベント企画および実施検討体制により具体化を展開したいと考えておりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

＜試験的イベントを実施する目的＞

①北十間川周辺のまちづくりについて地域内外へ PR し、まちづくりの機運を醸成する

②浅草と東京スカイツリーの中間に位置する地域の回遊性の向上を図る方策を検証する

③隅田川・北十間川の水辺がある地域における、まちと水辺との関係を再認識する

■参加者の意見（抜粋）

＜イベントに関するアイデアなど＞
・初回ということもあり身の丈に合った内容がよい。スタンプラリーなら出来そうな感じはあるが、どういう人たちをターゲットにするか考える必要がある。
・街を知ってもらいたい箇所をスタンプポイントとして、参加者に覚えてもらうのも一案である。回遊させるためには高札を活用したり、立て看板を設置してそこを回遊ポイントとしたりすることも考えられる

＜具体化に向けての意見＞
・実施時にはゴミの処理など管理班も体制として組んでおく必要がある。
・イベントの趣旨や必要性を明確にしたうえで、具体化に向けた実施体制が必要。
・区内の企業の協力も仰ぐことで街ぐるみのイベントに育てていくことも必要。

北十間川水辺活用まちづくりニュース vol.3
発行：平成 29 年　1 月 墨田区都市整備課

北十間川の水辺活用に向けた勉強会※（第４回）を実施しました

※北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、波及による周辺一帯の回遊性の向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

○平成28 年１２月１５日(木)に墨田区役所会議室において町会・商店会、事業関係者など総勢３６名により北十間川の水辺活用に向けた勉強会(第４回)を開催しました。

■参加していただいた町会・商店会など（順不同）
吾妻橋一丁目町会、吾妻橋二丁目町会、向島一丁目町会、小梅一丁目町会、
本所吾妻橋商店会、吾妻橋パトリア会、リバーピア吾妻橋飲食店会
(一社)墨田区観光協会、芝浦工業大学建築学科（志村教授・研究生一同）

■事業関係者
東武鉄道(株)、東京都、墨田区（観光課、産業経済課、都市整備課）（事務局：墨田区都市整備課、(株)アルメックVPI、(株)モデュール）

北十間川周辺エリアのまちづくりに関する提案（芝浦工業大学学生）

芝浦工業大学の学生さんから、北十間川を中心とした地域について、下記の７つのまちづくり提案をしていただき、地元の皆さんと意見交換を行いました。

・木漏れ日通り＝浅草通り
・あづちゃんの子供館＝大横側親水公園
・川に触れる＝小梅橋
・伝統とタワーをつなぐ場＝小梅牛島通り
・まちづくりを考える場＝都市整備用地
・伝統と憩いの場＝隅田公園
・川とのつながりを感じ、交流する場＝北十間川高架下

隅田公園の南側ゾーニング（グループワーク）

今回も3つのグループに分かれていただき、防災・防犯・歴史資産・子供の四つの視点から、隅田公園南側のゾーニングやあり方を議論していただきました。

グループ	RED	GREEN	BLUE
テーマ	防災・防犯に配慮した 外とも一体感のある公園	女性と子供が 安心して来れる公園	日本庭園と にぎわいのある公園
ターゲット	地元の方々・子供	女性、子供	地域と訪れた人との交流

試験的イベント及び来年度の勉強会・今後の勉強会の進め方について意見交換

11月28日に開催した「試験的イベントの検討会」での検討結果を報告し、イベントの実施について議論していただきました。しかし、議論の進め方について地元の皆さんと事務局の間に認識のずれがあり、来年度の勉強会の進め方も含めて次回の勉強会で再度検討することとなりました。

■参加者からの意見

・イベント検討会での議論は決定ではない。この勉強会で議論した内容を町会にもって帰って諮った上で、始めて決定出来る。
・勉強会とイベントの検討会を分けないで、一つの会で議論を進めてほしい。
・北十間川の整備と餅つきが結びつかない。食品は衛生的な問題があり、スタンプラリーの方がPRにいいのではないか。

北十間川の水辺活用に向けた勉強会※（第５回）を実施しました

北十間川水辺活用まちづくりニュース vol.4
発行：平成２９ 年３ 月 墨田区都市整備課

※北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、波及による周辺一帯の回遊性の向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

○平成２９ 年２月２４日(金)に墨田区役所会議室において町会・商店会、事業関係者など総勢３４名により北十間川の水辺活用に向けた勉強会(第５回)を開催しました。

■参加していただいた町会・商店会など（順不同）

吾妻橋一丁目町会、吾妻橋二丁目町会、向島一丁目町会、小梅一丁目町会、
本所吾妻橋商店会、吾妻橋パトリア会、リバーピア吾妻橋飲食店会
(一社)墨田区観光協会、芝浦工業大学建築学科（志村教授・研究生一同）

■事業関係者

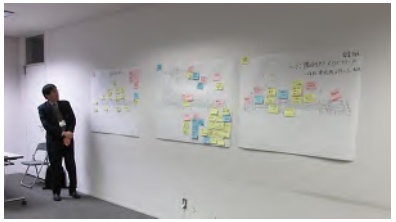
東武鉄道(株)、東京都、墨田区（観光課、産業経済課、都市整備課）
（事務局：墨田区都市整備課、(株)アルメックVPI、(株)モデュール）

隅田公園整備計画案についての意見交換（グループ討議）

前回までの勉強会での討議を踏まえて、公園のゾーニングと間引く樹木などを整理して参加者に提示しました。今回は、グループとしてのまとめは行わず、参加者に自由に意見を発言して頂きました。

班	RED	GREEN	BLUE
主な意見	➢ ゾーニングは概ね了承 ➢ 震災時にもまち歩きトイレは有意義 ➢ 常緑樹の方が管理は楽 ➢ 東側区道は、暗く歩きたくない ➢ 東側に公園出入口を増やす ➢ 自動車での来園への対応が心配 ➢ 参道は例大祭の神輿の通り道になる ➢ 子供を集めるためには遊具が必要 ➢ テラス・高架下・区道・公園の一体化	➢ ゾーニングは概ね了承 ➢ 見通しが良くなるのはいい ➢ 樹木を切りすぎて木陰がなくなる ➢ 出入口の段差解消 ➢ 路上駐車が心配 ➢ 歴史的資産の魅力が大きい ➢ 参道が神社への神輿の通り道になる ➢ 緩い傾斜での子供の遊びは良い ➢ 北十間川からの視線にも配慮	➢ ゾーニングは概ね了承 ➢ 南側区道は歩行者優先の道路に ➢ 東側に公園出入口を増やしてアクセス向上 ➢ ベビーカーにやさしい平坦な園路 ➢ 「参道」という名称は使うべきでない ➢ 「和」のデザインが良い ➢ 「水」を感じさせる演出 ➢ 緩やかな傾斜の遊びは子供が大好き ➢ テラスと公園を行き来する小道を高架下に

北十間川でこんなことがしたい・こんな水辺になってほしい（グループワーク）



引き続き3つのグループに分かれていただき、北十間川に親水テラスが整備された場合にどのような活動をしたいか、どのようなしつらえが必要か意見交換していただき、最後にテーマとしてまとめていただきました。

班	RED	GREEN	BLUE
テーマ	四季の香りの運河	隅田川からスカイツリーに、 一体性と連続性を持った水辺	みんなでつかうテラス
提案	➢ 川と線路、スカイツリーが一枚の写真になる絶好の絵になる風景を目指す。 ➢ 源森川水門を火の見櫓に見立てる。 ➢ 水門が殺風景。水門に化粧をして、何かあると思わせる工夫。 ➢ 南側空き地から北側へつながるシンボリックな人道橋をかける。太鼓橋とか。 ➢ 墨堤から北十間川へも桜並木が連続化すると絵になる。北側は桜で、南側はモミジとか。河津桜がきれい。 ➢ 整備後もカモなどの水鳥に来てほしい。 ➢ 釣り大会をテラスで。 ➢ 船の回遊は欲しい。将来的には、樋門の先にも行けると良い。 ➢ 噴水も涼しくて良い。 ➢ ライトアップなど夜の風景も活かしたい。	➢ 日よけテント・寝そべれないベンチ。 ➢ 東武に協力してもらって高架下に 24 時間使えるトイレ。 ➢ 夜間の街路灯による誘導。 ➢ 樋門と三ツ目通りの歩行者通行の連続性を確保。 ➢ スカイツリー下のデザインと一体的なデザイン（舗装や照明）。 ➢ 隅田川から北十間へイメージの連続性を大切に。 ➢ カヌーや和船が行き交う水辺に。 ➢ この区間は、道路とテラスの段差が少ないので水辺に親しみやすい。	➢ 水辺周辺の賑わい創出について賛成！ ➢ 水上スポーツやイベント。 ➢ 町会のイベント（餅つきなど）空間。 ➢ 船上ライブ。 ➢ 釣り堀・オープンカフェ。 ➢ うるおい広場のランステーションと連携したジョギングコース。 ➢ テラスの南北を繋げるシンボリックな人道橋（ex：吊り橋とか）。 ➢ ベンチやテーブル。 ➢ 夏場の日除けに緑が豊富なテラスに。 ➢ テラスの路面は平坦に。 ➢ 南側の河川用地を町会のコミュニティスペースや集客施設として活用したい。 ➢ 水道局の巨大な壁面をボルダリング施設として活用したい。

今後の勉強会の進め方について意見交換～志村先生の提案

これまで勉強会は区のスタッフが準備を担って１年間続けてきましたが、将来はこの勉強会が地元の方々を主体とした「協議会」に発展することを目指しています。

そこで、今後は勉強会の準備の段階から地元の方に関わって欲しいと考えました。勉強会の準備や詳細の検討などを担ってくれる方による検討部会（有志の会）を立上げ、今後の勉強会は運営していきたいと考えています。

北十間川の水辺活用に向けた勉強会※(事例視察会)を実施しました

北十間川水辺活用まちづくりニュース vol.5
発行：平成２９ 年３ 月 墨田区都市整備課

※北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、波及による周辺一帯の回遊性の向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

○平成２９ 年３月１１日(土)に、町会・商店会など総勢１８名により北十間川の水辺活用に向けた勉強会(事例視察会)を開催しました。

■参加していただいた町会・商店会など（順不同）
吾妻橋一丁目町会、吾妻橋三丁目町会、向島一丁目町会、小梅一丁目町会
墨田区観光課、都市整備課、(株)アルメックVPI

旧東海道品川宿のまちづくり視察

旧東海道品川宿におけるまちづくりについて、旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会のコーディネーターである佐山吉孝氏（INTERMEDIA 代表）と、地元でバックパッカーを対象としたゲストハウスを運営している渡邉崇志氏（(株)宿場JAPAN）にお話を伺いました。

- 東海道の歴史性を活かしたまちづくりを目標に昭和63年に「旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会」が全８商店街と全町会の参加を得て設立された。
- 平成３年「まちの宝探しワークショップ」を開催。まちのいいところを聞いて回って、７００件集めた。街歩きマップはこれをもとにつくった。
- ワークショップの成果として、発表会の時に若いメンバーから「このまちは変だ！」「普通のまち、よそのまちとは違う。その変なところがいい。変なところこそが宝だ。このまちは変わらないほういい。変なままがいい。どこにでもあるよそのまちと同じにしたくない。」という言葉が出てきた。
- その核にあるものは、お祭り、御神輿であることが解った。品川の人にとって１年はこのお祭りのためにある。最後のお宝は、肩に出来る神輿だこである。
- 平成５年に基本構想にまとめた。神輿だこを伝えるまちづくり。次の世代にまつりが続けられるまちづくりを進めていくこととしてまとめた。
- 平成７年にまちづくり計画書をつくり、品川宿まちづくりのバイブルとなっている。
- 街並みを決める主要な要素である色、形の基準についても、お祭りにある色と形、文字のデザインを参考とした。サイン整備、道路舗装、建物や付帯施設の修景などをこれに基づいて行っている。

お話いただいた佐山氏(右)と渡邉氏(左)

天王洲アイル　寺田倉庫の水辺活用事例の視察

天王洲アイルの水辺の活用について、寺田倉庫の柴田亮氏、林義人氏のお二人にお話を伺いながらご案内いただきました。運河沿いにウッドデッキが整備され、美味しい飲食店やオープンカフェが併設され、訪れた人が伸びやかでゆったりした空間を楽しんでいました。

ウッドデッキのオープンカフェ

日だまりのデッキに人が集まっている

柴田氏（右）と林氏（左）

ウッドデッキを歩く家族連れ

事例視察をしての感想

○電線の地中化はどのようにしてできたか？→当時は東京電力が地中化を奨励していた。
○北十間川については江戸の街並みをつくるのか、近代商店街を作るのか、谷中商店街のよう庶民的なまちをつくるのかそうしたビジョンを決める必要がある。
○旧品川宿も天王洲とも、地元の人や企業が知恵を集めて、行政を動かして大変なことをやっている。
○ゲストハウスに感銘を受けた。ウッドデッキは北十間川でもマッチすると思った。
○北十間川周辺でまちのお宝がどのくらい出てくるか？それをどのように活かしていくのか？高架下施設がどうなるかによる。
○北十間川テラスを考えると、さくらの並木がとても合う。吾妻橋から枕橋にかけてもさくらを植えていければ良い。
○いろいろな視察で勉強してみんなできれいなまちにしていきたい。
○皆さんで和をもってまちづくりしていることが楽しい。楽しいことで、人が人を呼んでおりすばらしいと思った。
○牛島神社で開催している「隅田川ものコト市」のようなイベントをもっとやって若い人を呼び込んでいくべき。
○作ったものを作りっぱなしにしていないことがすばらしい。
○江戸の文化としての色合いが、いなせで粋な色、色が勝負だと感じた。
○寝るだけに帰ってくるサラリーマンにどうしたら関心を持ってもらえるか？難しいと思った。